# ROKEN いばらき

第69号
2026.8.1

一般社団法人　茨城県介護老人保健施設協会

石岡のお祭り　土橋町獅子

写真提供：石岡市

## 目次 Contents


- 特別寄稿　**テノール歌手　秋川　雅史さん**からのメッセージ …… 2
- 茨城県福祉部　長寿福祉課　課長あいさつ・茨老健からのお知らせ❶ …… 3
- 専門家レポート『地球温暖化と健康』
  大前 比呂思氏（筑波大学・神戸大学 非常勤講師、医療法人 青藍会 医師） …… 4・5
- 企画1　外国人介護人材受け入れについてのレポートと実態調査 …… 6・7・8・9
- 専門委員会レポート　事業実績及び事業計画・委員長紹介 …… 10・11
- 県内他団体のご紹介　『ハローワーク』 …… 12・13
- **歌手　城　南海さん**からのメッセージ・茨老健からのお知らせ❷ …… 14
- スタッフからの一言 [あたごナーシングビラ・アイケア] …… 15
- 企画 2　第33回研究発表会レポート実績・開催後のアンケート結果報告 …… 16・17
- 施設紹介 [コミュニティケアセンター樅山・ライブリーライフ「那珂」・
  ひだまり倶楽部・かすみがうら] …… 18・19
- 会員施設一覧・編集後記 …… 20

## 特別寄稿

テノール歌手　**秋川雅史**さんから
当協会会員の皆様へメッセージをいただきました。

一昨年はこの場で、「夢のある人生」というテーマのもと、生涯にわたって夢を持ち続けることの大切さについてお話しさせていただきました。

今回は、お話ではなく、音楽を通して皆様に思いをお届けしたいと思います。

音楽は、生きていくために絶対に欠かせないものではありません。なくても人は生きていくことができます。しかし、音楽には人生を豊かにし、心を潤し、人に明日への力を与える不思議な力があります。

美しい響きに触れたとき、人の心は穏やかになり、ときには言葉では伝えきれないほどの勇気や希望が湧いてくることがあります。

今は、どこにいても音楽が流れ、AI が人の手を介さずに音楽を生み出す時代になりました。便利で豊かな時代だからこそ、人間がその場で生み出す「生の声」の持つ力や、一瞬一瞬にしか生まれない響きの尊さを、あらためて感じていただければと思います。

私は歌い始めて 45 年間、一日も欠かすことなく発声の鍛錬を続け、声を磨いてまいりました。人間の身体そのものが楽器となって生み出す歌声には、機械では決して表現できない温もりとエネルギーがあります。

今日のコンサートが、皆様の心に少しでも安らぎと活力をお届けし、これからの日々を元気に歩んでいく力につながれば、これ以上の喜びはありません。

**お知らせ**

e プリントサービス presents
秋川雅史
～「千の風になって」
20 周年記念コンサート～
＠ 東京芸術劇場 コンサートホール

■場所　東京芸術劇場 コンサートホール
（東京都豊島区西池袋 1 － 8 － 1）
■日時　2026 年 09 月 29 日（火）
開場 12:00 / 開演 13:00
■料金
・プレミアムチケット 9,800 円（税込）
※アフターイベント・お見送り付
・一般チケット 7,500 円（税込）

公演についての詳細は
こちらからご覧ください

# あいさつ

茨城県福祉部長寿福祉課
課　長　　佐久間　敏

本年４月に課長に就任いたしました佐久間敏でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

茨城県介護老人保健施設協会の皆様には、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なるご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国では少子高齢化が急速に進行し、本格的な超高齢社会を迎えております。本県においても高齢化が着実に進み、介護ニーズが高まる一方で、それを支える介護人材の確保が大きな課題となっております。

このような中、高齢者一人ひとりの状態やニーズに応じた質の高い介護サービスを安定的に提供していくことが、これまで以上に求められており、日々、利用者やご家族に寄り添いながら介護現場を支えておられる皆様のご尽力に、深く敬意を表する次第です。

介護人材の確保や処遇改善が重要な課題となる中、令和８年６月には介護報酬の臨時改定が実施され、介護従事者の処遇改善に向けた取組が進められております。また、令和９年度介護報酬改定に向けては、介護人材の確保や事業者の経営の安定、物価・賃金上昇への対応などについて議論が進められております。

県におきましても、介護人材の確保や職場環境の改善をはじめ、介護サービスの安定的な提供体制の確保に向けて引き続き取り組むとともに、県内の施設・事業所の皆様が円滑に対応できるよう、必要な情報の提供や支援に努めてまいります。

介護老人保健施設におかれましては、医療と介護の両面から利用者を支えるとともに、地域の高齢者福祉を支える重要な役割を果たしていただいております。介護人材の確保や定着、物価・賃金の上昇への対応など、施設を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、そのような状況にあっても、利用者一人ひとりに寄り添ったきめ細かなサービスを提供し続けておられる皆様のご尽力に、改めて敬意を表します。

今後とも、高齢者やそのご家族が安心して暮らせる地域づくりのため、引き続きご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして、挨拶といたします。

## お知らせ 1

### ○顧問弁護士（茨老健）の運用方法の追加されました。

変更前：各施設の「電話相談　窓口担当者」は各施設１名を登録

変更後：上記に加え、各施設の支援相談員の方は、「電話相談　窓口担当者」の登録なしで電話相談が出来ることになりました。

変更日：令和８年７月１日（水）です。

専門家レポート

# 地球温暖化と健康

筑波大学・神戸大学非常勤講師
茨城保健生協 内科医　青藍会大場内科玉造クリニック医師
大前　比呂思 氏

## 世界規模で進む地球温暖化

2023 年 9 月の国際連合の年次総会で、グテーレス国連事務総長は、「気候崩壊が始まった。人類は地獄の門を開けてしまった。」と述べました。ウクライナやガザでの戦火が続き、核戦争の危機も取り沙汰されていますが、地球の全人類に共通する危機として、地球温暖化の問題にも触れないわけにはいかなかったのです。最近の地球温暖化は、実際、戦争被害に匹敵するような死亡者数を生み出しています。熱中症により持病が悪化した超過死亡も含めれば、2003 年の熱波では、全ヨーロッパで 70,000 人、2010 年の熱波ではロシアを中心に 40,000 人の死亡者を数えたと推測されています。さらに、最近の日本での傾向でも明らかなように、地球温暖化は、台風やハリケーンの巨大化にも関係すると言われています。2008 年にミャンマーを襲った巨大サイクロンでは、100,000 人を超す死者が推定されました。東日本大震災による死亡者が、22,000 人余りと言われていますから、地球温暖化が生む健康被害の大きさには、驚くばかりです。

**大前 比呂思**
（筑波大学・神戸大学 非常勤講師、医療法人 青藍会 医師）

学歴
1985 年　筑波大学医学専門学群卒業
1992 年　筑波大学医学研究科博士課程修了

主な職歴
1994 年　国立国際医療センター（現　国立健康危機管理機構）
1998 年　筑波大学基礎医学系
2005 年　国立感染症研究所　室長（現　国立健康危機管理機構）
2014 年　上記を早期定年退職
茨城保健生協　内科，医療法人青藍会　大場内科玉造クリニックに勤務し、現在に至る
筑波大学，神戸大学非常勤講師　前獨協医大特任教授
昨年まで、環境省　気候環境影響　健康分野ワーキンググループの委員を努めた

## 野外労働と健康の確保

日本の夏が暑くなっていく傾向は、年々、文字通り肌で感じることができます。しかし、夏の過酷な環境の中でも、野外での労働をすべて止められるわけではありません。そこで昨年、今や労働者の命を確実に脅かす夏の暑さに対し、労働安全衛生規則が改正され、従来は努力義務であった熱中症対策は、罰則規定のある事業者の義務とされました。熱中症対策義務の対象となる作業は、暑さ指数（WBGT）28 以上または気温 31℃以上の環境で、連続 1 時間以上または 1 日 4 時間超の労働が見込まれる作業とされます。この条件であれば、茨城県内での夏の野外労働は、時間帯を選んだとしてもほぼ全てが対象となるでしょう。そのような作業に従事する事業者には、労働者の熱中症の予兆を早期に発見する体制を整備することが義務づけられ、見守り役の配置と報告ラインの確立が求められます。また、1 時間ごとに休憩がとれるような態勢を整えることが要求され、初期症状発見時の対応手順を明確化し、応急処置・搬送先を定めたマニュアルを作成し掲示しなければなりません。さらに、このような事情の全従業員への教育・周知も要求されます。

しかしこのような規定が、一人二人で野外の塗装を請け負うといった個人事業の自営業者や、農業労働者にまで徹底されているかと言えば、残念ながらそれは疑問です。私は、糖尿病や高血圧、慢性腎障害といった受診者の外来時間に、なるべく夏の労働環境についてもうかがうようにしています。残念ながら、労働安全衛生規則の動向を知らない、或いは知っていても無視せざるを得ない方も少なくありません。屋外で車の車体を塗装したり、畑仕事をしているうちに、1 時間くらいはすぐにたってしまう、いちいちそこで屋内や日陰で休んでいたら、能率が悪くて仕事にならないと言われれば、なかなか反論できません。私達も、自宅の除草作業などをする場合、あと 20 分やってきりがいいところまで、といった判断をしがちです。しかし今や、それは、極めて危険な判断と言わざるを得ないでしょう。5 年前なら、10 年前なら、炎天下でこれくらいの作業をしても、問題なかったという判断も禁物です。健康に自信があったとしても、農作業も自宅の庭の手入れも、連続して行う場合、夏は 1 時間が限度でしょう。また、おかしいと思う前に、作業を止める意志を持つことも大切だと思います。

## 暑い夏のリハビリをどう進めるか

そして、このような熱中症への配慮は、当然リハビリの現場でも必要とされると思います。典型的な熱中症では、大量の発汗やめまいに続いて、こむら返りやしびれがおきます。そして、頭痛や吐き気が生じ、進行すればけいれんや意識障害にまで至ります。もっとも、熱中症は早めに対処すれば、腎臓や心臓などにダメージを残すことは少ないと言われていました。

しかし、最近の研究で、特に生活習慣病や腎疾患を持つ高齢者では、熱中症の予後はよくないことがわかってきました。高齢者はただでさえ、熱中症の症状が出にくいうえ、急に症状が悪化すると言われています。また、熱中症の症状がでなくても、熱波にさらされると、精神病や慢性腎障害、心臓や脳の血管疾患のリスクが増えることも、最近の研究調査でわかってきました。そもそも、リハビリを継続されている方には、心臓や脳の血管疾患があって、リハビリが始まったという方も多くいらっしゃいます。そのような方が、暑い中でのリハビリで、さらに病状を悪化させていくリスクは、容易に想像することができます。

脳梗塞で入院されていた方が退院を目指して、病院周囲で歩行練習をするといった光景は、けっこう目にします。また、訪問リハビリなどでも、付き添って自宅周囲を歩くといったプログラムが組まれることがあるでしょう。しかし、スタッフが付き添うそのようなリハビリが可能な時間帯の大半は、夏の間は、熱中症対策が義務づけられている、暑さ指数 28 以上、気温 31℃以上の環境に該当します。リハビリには、労働安全衛生規則のような基準があるわけではありませんが、健康な若い労働者でも、1 時間ごとに注意深い観察が要求される環境での、高齢者のリハビリには、細心の注意が必要とされるでしょう。これは、各々のケースによって判断すべきで、一律に屋外でのリハビリをやめてくださいとは言えないと思いますが、それこそ体調に合わせて 10 分おきくらいに休憩をとり、スタッフが注意深く観察して、あともう少しという意欲があっても、止める勇気を持つことが大切だと思います。

フレイル予防という観点から、夏もリハビリを続けるには、屋内でのリハビリが中心になると思いますが、訪問診療に伺った際など、高齢者だけで暮らしていらっしゃる家だと、医療スタッフが暑さを感じることがままあります。これもよく言われることですが、従来冷房をつける習慣が少なかった高齢者が、夏クーラーをあまり使わないでいると、屋内であっても熱中症のリスクが高まります。訪問リハビリなどで、屋内でのリハビリを工夫する場合、まず、室内の温度を下げる配慮が必要になるでしょう。

また、屋内の施設が比較的充実している施設リハビリの利用を、さらに進めていく視点も必要だと思います。介護認定を受けていらっしゃる方が、デイケアやデイサービスを利用されるのはもちろんですが、色々な福祉施設や健康施設が、様々なタイプのサービスを提供しています。そのサービス内容を、利用者がフレイルを予防しながら夏を乗り切るのに適切な内容に変更していく工夫が必要になるかもしれません。

## 温暖化に伴う感染症の変化

ところで、熱中症やそれと関連した腎疾患や血管疾患の増加以外に、温暖化による健康影響として感染症の増加があげられます。むしろ、従来はそのリスクが強調されていて、気候変化に伴い、日本でも熱帯や亜熱帯で流行しているような感染症、特に蚊が媒介する感染症が増加すると予測されていました。

もっとも、蚊が媒介する感染症や、他の動物から人に感染する病気の流行は、温度だけではなく、他の環境要因も大きく影響します。例えば、蚊を介してブタから人に感染が拡大する日本脳炎は、日本の農村で大きな問題だったので、日本の名がつきましたが、実際は東南アジアで多い病気です。ウイルスを保有しても無症状のブタでは、今も陽性率は 40%と言われていますが、ブタを生育する豚舎と人の日常的な生活圏が離れたことにより、国内での年間発生は数十人以下になりました。農家の軒先でブタを数匹生育していたのが珍しくなかった 1970 年代までは、小中学校で日本脳炎ワクチンを集団接種していましたが、現在のワクチン接種は豚舎で働く人々や豚舎に隣接して住んでいる人に集中してなされます。

温暖化しても、日本国内での熱帯の感染症のリスク増加はないだろうと、考えられていた矢先、2014 年に予想外のことがおこりました。国内では 70 年ぶりとなるデング熱の集団発生が、東京で確認されたのです。ウイルス性の熱性疾患であるデング熱は、海外で感染して帰国後に発症する輸入例以外、日本国内での報告は長年なかったのですが、都内の公園で蚊を介した百数十人の感染が起きました。デング熱ウイルスを媒介する蚊は、日頃目にすることが多いイエカの仲間であり、悪い条件が重なれば、茨城県内のどこでもデング熱が流行するリスクは十分あります。

ところで、温暖化との関係ははっきりしませんが、最近、ウイルス性疾患の季節性が変化しているのは、たいへん気になるところです。従来、冬の風邪ウイルス（インフルエンザAとB、RSウイルス、コロナウイルスなど）と、夏の風邪ウイルスは（エンテロウイルス、コクサッキーウイルスなど）は、明確に分かれていました。しかし、新型コロナウイルスの流行以後、従来の傾向がおかしくなっています。2009 年に新型インフルエンザと騒がれた A 型インフルエンザウイルスは、次の年から冬に流行する季節性ウイルスになりました。しかし、数年で冬を中心に流行する風邪ウイルスになると思われた新型コロナウイルスは、まだ夏風邪ウイルスとしても残っています。新型コロナウイルスは、そろそろ今年から、夏の流行がなくなるかもしれませんが、風邪を起こすウイルスの季節性は、全体的に見ても以前ほどはっきりしなくなっています。夏風邪をこじらす例が増え、夏も風邪が流行する季節になってきましたが、一部では、夏の空調で冬以上に換気が悪くなっていることを、一因として示唆する報告もあります。新型コロナウイルスの最流行期には、夏でも冬と同様、医療福祉施設では、定期的な換気が奨励されました。今後は、リハビリの現場も含め、夏も換気が必要な季節となっていくかもしれません。

## リハビリに従事する職員も暑さに十分な配慮を

ところで夏には、リハビリの現場も、危険な野外労働の現場に近い環境になることがよくあります。前述しましたが、訪問リハビリの現場では、あまりの暑さに実施を躊躇したり、適正な室内温度まで下がるのを待っている間に時間が足りなくなるといったこともあるでしょう。利用者の健康管理とともに、サービスを提供する医療スタッフの健康にも十分注意したマニュアル作りが、今後はますます必要になってくると思います。

企画 1

# 外国人介護人材受け入れについてのレポートと実態調査

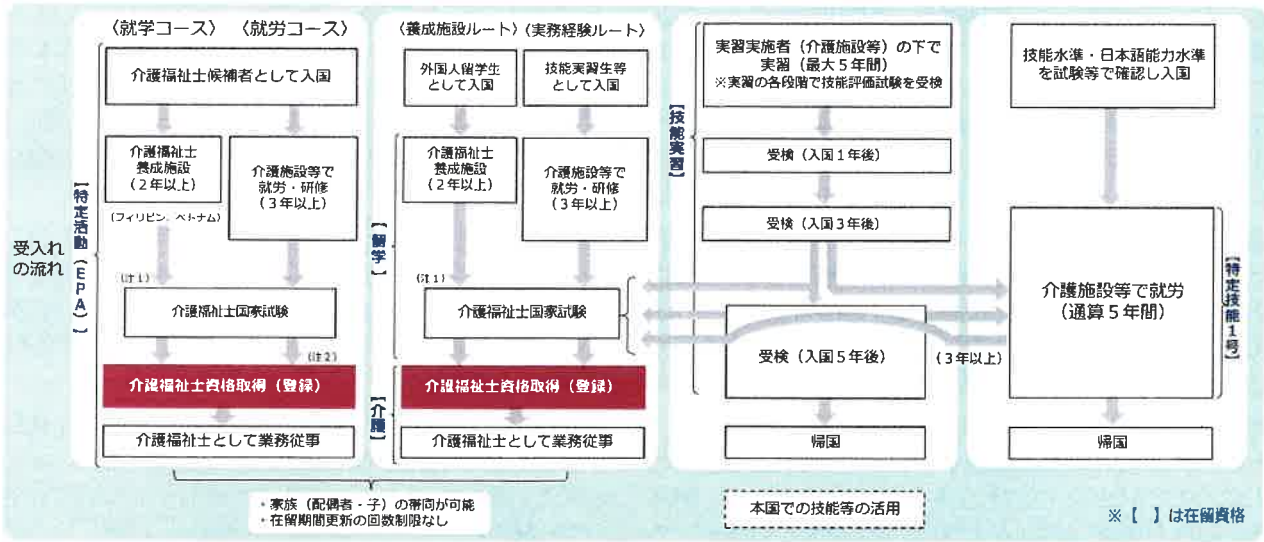
## はじめに

日本では、少子高齢化に伴う深刻な人手不足の解消と、経済活動の維持・発展を目的に、外国人人材の受け入れについての政策が施行されています。特に、介護、建設、製造、農業などの分野で労働力不足が顕著であり、即戦力となる人材が不可欠となっています。持続可能な高齢者保険システムの確立と強化や将来にわたり必要な介護サービスを安心して受けることができるよう、介護の担い手の確保が重要な課題となっていると言われています。

外国人介護人材の受け入れの仕組みとしては、EPA（経済連携協定）・在留資格「介護」・技能実習・特定技能の４種類があり、下記の図から分かるように在留者数は年々増加しています。

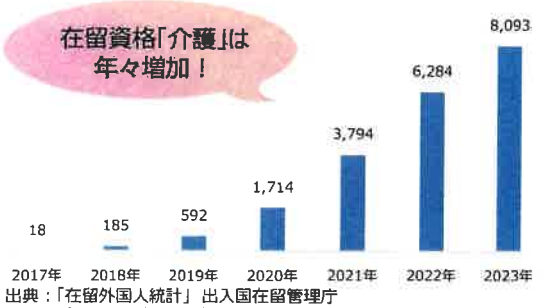
### 外国人介護人材受入れの仕組み

| | EPA（経済連携協定）（インドネシア・フィリピン・ベトナム） | 在留資格「介護」（H29．９／１～） | 技能実習（H29．11／１～） | 特定技能１号（H31．４／１～） |
|---|---|---|---|---|
| 在留者数 | 3,252人（うち資格取得者452人）（令和７年３月１日時点） | 10,468人（令和６年６月末時点） | 15,909人（令和５年12月末時点） | 44,367人（令和６年12月末時点） |
| 制度趣旨 | 二国間の経済連携の強化 | 専門的・技術的分野の外国人の受入れ | 本国への技能移転（注３） | 人手不足対応のための一定の専門性・技能を有する外国人の受入れ |

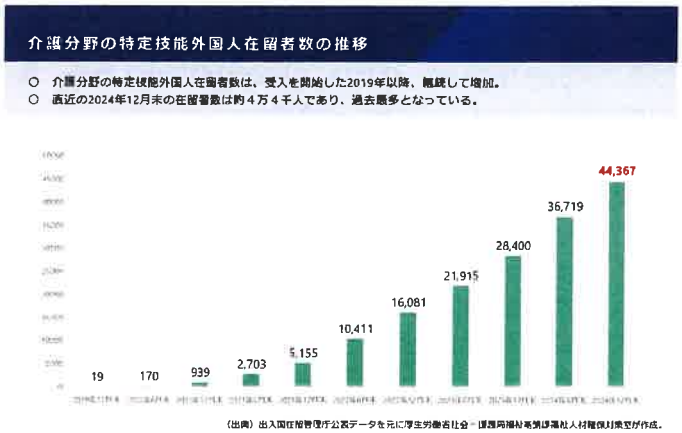



（注１）平成29年度より、養成施設卒業者も国家試験合格が必要となった。ただし、令和８年度までの卒業者には卒業後5年間の経過措置が設けられている。
（注２）４年間にわたりＥＰＡ介護福祉士候補者として就労・研修に適切に従事したと認められる者については、「特定技能１号」への移行に当たり、技能試験及び日本語試験等を免除。
（注３）技能実習制度については、育成就労制度に見直す法案が令和６年６月14日に成立し、原則３年以内の施行となっている。






出典：「在留外国人統計」出入国在留管理庁
※2017年～2022年までは各年12月末時点であり、2023年は6月末時点の数値である。




（出典）出入国在留管理庁公表データを元に厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室が作成。

## 「外国人介護人材の受け入れ状況に関するアンケート」集計結果から分かること

今回、茨城県介護老人保健施設協会会員施設を対象に「外国人介護人材の受け入れ状況に関するアンケート」を実施いたしました。次ページの集計結果から分かるように、回答が得られた約 50 施設の中で半数以上の施設が外国籍スタッフを受け入れています。まだ受け入れを行っていない施設の中でも、今後受け入れる予定や検討中との回答もあり、外国人介護人材の受け入れ制度が普及してきていることが分かります。受け入れ人数は「1 ～ 5 名」が 21 施設と一番多く、次いで「6 ～ 10 名」の 9 施設となっています。20 名前後受け入れている施設もあり、それに伴い様々な課題も増えてきています。アンケート結果から分かる課題は言語の問題がほとんどであり、記録業務や申し送り等で苦慮しているとの意見が多く見受けられました。文化の違いや生活面での支援、管理団体との連携等において課題に感じているとの意見もありました。こうした課題を解決するためには、教育面や生活支援の体制作りが重要となってきます。各施設でのキャリアパスの作成や長期就労へ向けてできる限り不自由なく生活できるような、ライフステージに応じた支援が重要であると考えます。

●参考資料

厚生労働省：介護分野における特定技能協議会運営委員会　令和６年度第１回（令和７年３月２８日）

日本介護福祉士会：外国人介護職員活躍のためのガイドブック　令和６年３月

## 外国人介護スタッフの声

**Q１　介護の仕事についた理由は何ですか?**

在留資格「介護」Ａさん：日本での知識と経験を積み、いつか母国に戻って介護施設を開き、経済的に困っている高齢者の方々を幸せに支えたいからです。

在留資格「介護」Ｂさん：私は人の役に立つ仕事がしたいと思い、介護の仕事を選びました。お年寄りの生活を支えて、笑顔を見ることにやりがいを感じます。

**Q２　日本の介護施設で働くためにどんな勉強をしましたか?**

在留資格「介護」Ａさん：介護の専門学校を卒業しました。

在留資格「介護」Ｂさん：日本語の勉強をして、介護に必要な言葉やコミュニケーションを学びました。また、介護の基本知識や利用者さんの接し方も勉強しました。

**Q３　日本で働く中で何が一番大変ですか?**

在留資格「介護」Ａさん：言葉の壁です。特に漢字の読み書きが難しく、毎年のビザ更新の手続きも大変です。

在留資格「介護」Ｂさん：一番大変なのは言葉の違いや仕事のルールを覚えることです。でも毎日少しずつ慣れて成長できています。

**Q４　仕事場は楽しいですか?**

在留資格「介護」Ａさん：はい。この仕事が好きでやりがいを感じています。

在留資格「介護」Ｂさん：はい、楽しいです。同僚の皆さんが優しくて、利用者さんと毎日交流できるので、やりがいを感じながら働いています。

**Q５　これからの目標は?**

在留資格「介護」Ａさん：日本で技術と経営を学び、母国で介護施設を開きキャリアアップしたいです。

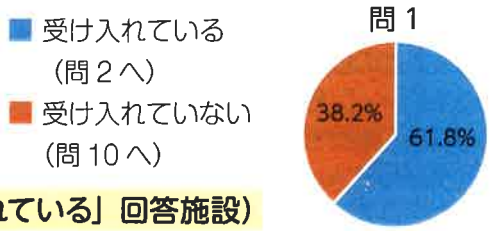
在留資格「介護」Ｂさん：これからも日本語と介護の知識をもっと勉強して、利用者さんに安心してもらえる介護士になりたいです。

# 外国人介護人材の受け入れ状況に関するアンケート集計結果

（対象：会員 103 施設 / 回答：55 施設）

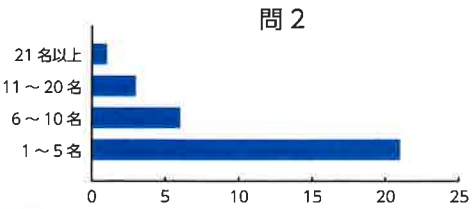
## 問 1. 現在、外国人材を受け入れてますか

| 回答選択肢 | 施設数 |
|---|---|
| 受け入れている（問 2 へ） | 34 |
| 受け入れていない（問 10 へ） | 21 |
| 合計 | 55 |



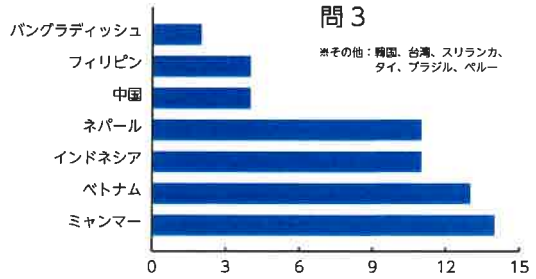

## 問 2. 受け入れ人数を教えてください（問 1 で「受け入れている」回答施設）

| 受入れ人数 | 施設数 |
|---|---|
| 1 ～ 5 名 | 21 |
| 6 ～ 10 名 | 9 |
| 11 ～ 20 名 | 3 |
| 21 名以上 | 1 |
| 合計 | 34 |



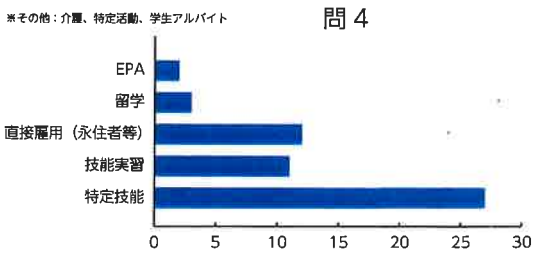

## 問 3. 受け入れている外国人材の国籍を教えてください（複数回答）

| 国籍 | 施設数 |
|---|---|
| ミャンマー | 14 |
| ベトナム | 13 |
| インドネシア | 11 |
| ネパール | 11 |
| 中国 | 4 |
| フィリピン | 4 |
| バングラディッシュ | 2 |
| ※その他：韓国、台湾、スリランカ、タイ、ブラジル、ペルー | |




## 問 4. 受け入れている在留資格・制度を教えてください（複数回答）

| 在留資格・制度 | 施設数 |
|---|---|
| 特定技能 | 27 |
| 技能実習 | 11 |
| 直接雇用（永住者等） | 12 |
| 留学 | 3 |
| EPA | 2 |
| ※その他：介護、特定活動、学生アルバイト | |

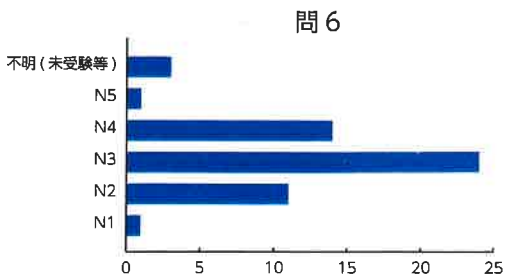



## 問 5. 住居費の負担区分を教えてください

| 在留資格・制度 | 施設数 |
|---|---|
| 一部法人・一部本人負担 | 21 |
| 本人負担 | 12 |
| 法人負担 | 3 |
| ※その他：住居手当半分、支給による本人負担 | |

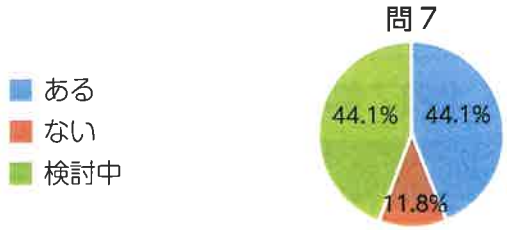
## 問 6. 外国人材の日本語能力の状況を教えてください

| 日本語能力レベル | 施設数 |
|---|---|
| N1 | 1 |
| N2 | 11 |
| N3 | 24 |
| N4 | 14 |
| N5 | 1 |
| 不明（未受験等） | 3 |



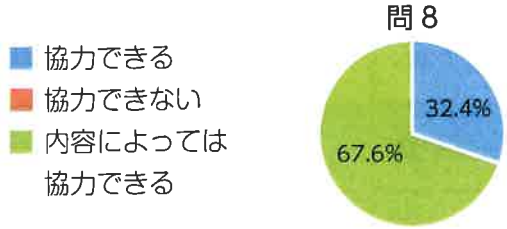
### 問 7. 今後外国人材の受け入れを増やす予定はありますか

| 回答 | 施設数 |
|---|---|
| ある | 15 |
| ない | 4 |
| 検討中 | 15 |
| 合計 | 34 |




### 問 8. 受け入れ検討施設への情報提供協力について

| 受入れ人数 | 施設数 |
|---|---|
| 協力できる | 11 |
| 協力できない | 0 |
| 内容によっては協力できる | 23 |
| 合計 | 34 |

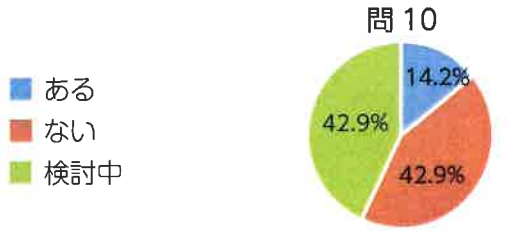



### 問 9. 外国人材の受入れに関する課題や工夫している点（自由記述抜粋）

| No | 回答 |
|---|---|
| 1 | 言葉の壁があり、利用者様側でも拒否が見られることがある。 |
| 2 | 日本語習得機会の提供、日本語ステップアップ講座と受講。 |
| 3 | 国家試験対策をどのようにしたらいいのかが課題。 |
| 4 | 専門用語は使わずやさしい日本語＋ジェスチャー。分からないときは、夕方などに補習・フォロー。 |
| 5 | 利用者様の椅子に、ひらがなと漢字を併記した氏名シールを貼付した。 |
| 6 | 外国人職員にとって、口頭での申し送りにおいて、限られた時間内に必要適切に確認することが課題となっている。施設内の書類にふりがなをつけ、読みやすくする工夫をしている。 |
| 7 | 既存の新人研修だけでは、伝わらない部分があるため、外国人用の新人研修プログラムを実施。 |
| 8 | 住んでいた地域によっては、洗濯や洗髪･洗身に関する生活習慣や文化が異なり、相互理解を要することがあった。文化の理解、コミュニケーションツールの使用が重要。 |
| 9 | 日本語能力が課題。個人に差がある。 |
| 10 | 住居、生活（居住面、生活面の対応、メンタルケア、日常生活のフォロー）に関して日本との違いが多く負担。 |
| 11 | その国の言葉を使ってあいさつなどしてコミュニケーションをとっている、普段からのコミュニケーション。 |
| 12 | 意思疎通と日本語能力。介護施設は利用者様の訴えを正しく聞き取れる高い語学力を求められる。 |
| 13 | 監理団体、送出機関に毎月支払う費用が負担。 |
| 14 | 支援機関との連携、共有。サポート委員会を設け、登録支援機関と情報共有、スタッフ間でも意識統一。 |
| 15 | 外国人リーダーの使命、定着に向けた支援。 |
| 16 | ローマ字、絵、ひらがな等で外国籍でもわかる様に様々なものを工夫している。 |
| 17 | 習慣の把握と母国と日本の違いを理解してもらう。 |
| 18 | 課題は、言葉の壁。日本人職員への理解、携わり方の工夫、生活面での協力、信頼関係の構築。 |
| 19 | 漢字にふりがなをつけている。 |
| 20 | 介護施設の施設がほぼ初めてなので指導を担当している。 |
| 21 | 水痘ワクチンをやっていない、もしくは罹患していないため、利用者の帯状疱疹等への配慮が必要。 |
| 22 | 業務以外でも孤立しないようにイベントを行っている。 |
| 23 | 利用者様に顔と名前を覚えていただけるよう朝夕と一人一人にあいさつに伺う。 |
| 24 | １つの業務をクリアするまで他の業務にヘルプなどに入らず専念させる。 |

### 問 10. 現在受け入れていない施設：今後の受入れ予定

| 回答 | 施設数 |
|---|---|
| ある | 3 |
| ない | 9 |
| 検討中 | 9 |
| 合計 | 21 |



# 専門委員会レポート

## 令和７年度研修会参加者実績　411 名

| 委員会 | 実施日 | 形態 | 事業内容（研修会） | 講師（敬称略） | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 看介護 | R7.<br>8.19 | リモート | 接遇目線で考える現場対応と<br>職場環境づくり | 高橋いくこ | 25 施設<br>52 名 |
| 看介護 | R7.<br>10.16 | ハイブ<br>リッド | 高齢者施設における感染対策 | 残間由美子・<br>村上啓雄 | 42 名 |
| 支援相談 | R7.<br>7.8 | 現地参集 | グループワーク情報交換会 | — | 33 施設<br>51 名 |
| 支援相談 | R7.<br>11.14 | リモート | クレーム対応、カスタマーハラスメント<br>対処について | 喜山志津香 | 34 施設<br>60 名 |
| 栄養 | R7.<br>6.19 | リモート | 学会分類 2021 の解説、嚥下のメカニズムと、とろみ食品の正しい使い方 | 鈴木安奈<br>（フードケア） | 33 施設<br>50 名 |
| 栄養 | R7.<br>11.14 | 現地参集 | 高齢者に多い基礎疾患での検査データ値の見方<br>栄養マネージメント強化加算 | 麻植有希子<br>（SNMPO ケアフーズ） | 32 施設<br>38 名 |
| 事務 | R7.<br>10.17 | 現地 | 人事評価制度、情報交換会 | 事務局 | 14 施設<br>17 名 |
| リハビリ | R7.<br>6.24 | リモート | その人らしさを尊重した認知症ケア | 松下　太<br>（森ノ宮医療大学<br>作業療法学科教授） | 47 名 |
| リハビリ | R7.<br>11.25 | リモート | 老健における、リハ・栄養・口腔の一体的取組み～多職種での連携強化と加算算定の流れ～ | 修行さやか<br>（老健湯の里まとば<br>管理栄養士） | 34 名 |
| リハビリ | R8.<br>2.24 | 現地参集 | リハビリテーション専門委員会主催<br>研究発表会 | リハビリテーション<br>専門委員会 | 20 名 |
| 合同会議 | R8.<br>3.17 | 現地参集 | R7 年度事業実績のまとめ、R8 年度事業計画策定 | | 38 名 |

令和７年度もたくさんの方にご参加いただくことができました。あらためて感謝を申し上げます。
令和８年度の計画では、前年度を上回る実施回数を予定していますので、是非ともご参加いただきまして、医療介護のリテラシー向上を高めていただきますと幸いです。
また、実施内容のご希望がございましたら、事務局までお申し付けください。今後とも、より良い研修・セミナーを提供できますよう各専門委員会で努めて参りますので、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 令和８年度専門委員会活動計画

| 委員会 | 実施予定日 | 事業内容（研修会） | |
|---|---|---|---|
| 看介護 | R8.9.28（月） | ①ご家族対応、新入職員の育て方、接遇ほか | 髙橋いくこ |
| 看介護 | R8.12.18(金) | ②嚥下について、接触を通した介護の在り方 | 吉田真由美 |
| 看介護 | R8 年度下期 | ③認知症について（案） | 講師選定中 |
| 支援相談 | R8.7.22（水） | ①グループワーク（情報交換） | |
| 支援相談 | R8.10.14(水) | ②カスタマーハラスメント対処について | 喜山志津香 |
| 栄養 | R8.7.9（木） | ①非常食の取り扱い | アルファフーズ、<br>丸紅食品 |
| 栄養 | R8.11 月予定 | ②茨城県栄養士会共同開催研修会<br>（テーマ未定） | |
| 事務 | R8 年度上期 | ①テーマ候補：運営指導と各委員会の在り方 | |
| 事務 | R8 年度下期 | ②テーマ候補：接遇、グループワーク | |
| リハビリ | R8.6.23（火） | ①リハビリ現場における介護 DX の基本と<br>生産性向上の考え方 | 鎌田大啓 |
| リハビリ | R8 年度下期 | ②内容選定中 | |
| リハビリ | R8 年度下期 | ③内容選定中 | |

## 令和８年度各専門委員会　委員長

※敬称略

| 委員会名 | 委員長名 | 施設名 |
|---|---|---|
| 看護介護専門委員会 | 飯村和弘 | ごぎょうの里 |
| 支援相談員専門委員会 | 八木沼圭 | ひだまり倶楽部 |
| 栄養専門委員会 | 吉田寿子 | 涼風苑 |
| 事務専門委員会 | 浜崎裕司 | ごぎょうの里 |
| リハビリ専門委員会 | 中野裕司 | セントラル土浦 |

県内他団体のご紹介

# ハローワーク

## こんにちは！私たちはハローワークです

ハローワーク（公共職業安定所）は、仕事をお探しの方や求人事業主の方に対して、さまざまなサービスを無償で提供する、国（厚生労働省）が運営する総合的雇用サービス機関です。全国500か所を超えるハローワークでは、全国の豊富な求人情報をもとにした「職業紹介」のほか、「雇用保険」、「雇用対策」などの国の制度を組み合わせた雇用支援を実施しています。

茨城県内には13か所のハローワークが設置されており、各ハローワークでは地域の皆様のさまざまなニーズにお応えしながら、若者、女性、高齢者、障害者など働く意欲のある全ての人々が、能力を発揮し、安心して働き、安定した生活を送ることができる社会の実現を目指して、関係機関と連携を図りながらさまざまな取組を行っています。

ハローワーク水戸

ハローワーク
ホームページ

ハローワーク
インターネット
サービス

茨城労働局
ホームページ

## ハローワークの取組

令和7年度に茨城県内のハローワークで事業主の方から申込のあった求人数（新規求人数）は177,403人分、仕事探しのために求職申込のあった件数（新規求職申込件数）は92,358件、ハローワークの紹介により就職した件数（就職件数）は22,203件となりました。

ハローワークでは、求人事業主（求人者）に対して、全国ネットワークを活用した職業紹介、お仕事探しをされている方（求職者）のニーズに基づく求人充足に向けた助言・指導や、就職面接会の開催などの求人者向けサービスを実施し、人材確保を支援しています。一方、求職者に対しては、就職活動の進め方や職業選択・職業生活設計などの相談（キャリアコンサルティング）を行う他、全国ネットワークを活用した職業紹介を実施し、求職者の仕事探しを支援しています。

特に、医療・福祉分野においては、資格取得者はもちろんのこと、これまで医療・福祉分野での仕事の経験が無いものの、興味・関心のある求職者に対し、職場見学会、仕事体験会、セミナー等の業界の魅力を伝えるイベントや、合同就職面接会などのマッチングイベントを積極的に実施しています。また、「介護の日（11月11日）」を中心に、全てのハローワークで介護分野への就職支援を集中的に実施しています。

さらに、必要な職業スキルや知識、資格などを習得することができるハロートレーニング（※）のあっせんにより、スキルアップの支援にも取り組んでいます。

（※）ハロートレーニングは公的職業訓練の愛称です。

ハロートレーニング
急がば学べ

# 人材確保にはハローワークをご利用ください

全国で転職した方の５人に１人がハローワークの求人を利用しています（厚生労働省「雇用動向調査」より）。人材確保でお困りのことはありませんか？ハローワークでは、貴施設のお悩みに応じたサポートを行います。人材確保に関するご相談は、いつでもハローワークへお寄せください。

## 主な求人者向け支援サービス（詳細は管轄のハローワークへお問い合わせください。）

- ハローワークインターネットサービスで全国に求人を公開
- 求人充足に向けたコンサルティング
- 就職面接会、会社説明会・見学会などの開催
- 豊富なデータに基づく労働市場の情報の提供

## 医療・介護・保育ささえる求人充足プロジェクト

人手不足が顕著な医療・介護・保育の人材確保支援を進めるため「医療・福祉ささえる求人充足プロジェクト」を実施しています。

ハローワーク職員が事業所を訪問し、課題や採用ニーズをお伺いします。ハローワークのサポートをご希望の場合は、管轄のハローワークへご連絡ください。

## 茨城県内のハローワーク所在地　厚生労働省 茨城労働局

| | 所在地 | 電話番号 | 管轄 |
|---|---|---|---|
| 水戸公共職業安定所 | 水戸市宮町1-2-4　マイムビル８階 | 029-231-6221 | 水戸市　ひたちなか市　那珂市<br>茨城町　大洗町　城里町　東海村 |
| 水戸公共職業安定所笠間出張所 | 笠間市石井2026-1 | 0296-72-0252 | 笠間市 |
| 日立公共職業安定所 | 日立市若葉町2-6-2 | 0294-21-6441 | 日立市 |
| 筑西公共職業安定所 | 筑西市成田628-1 | 0296-22-2188 | 筑西市　結城市　桜川市 |
| 筑西公共職業安定所下妻出張所 | 下妻市下妻乙124-2 | 0296-43-3737 | 下妻市　八千代町 |
| 土浦公共職業安定所 | 土浦市宍塚1838 土浦労働総合庁舎 | 029-822-5124 | 土浦市　つくば市　かすみがうら市<br>阿見町 |
| 古河公共職業安定所 | 古河市下辺見2099古河労働総合庁舎 | 0280-32-0461 | 古河市　境町　五霞町 |
| 常総公共職業安定所 | 常総市水海道天満町4798 | 0297-22-8609 | 常総市　守谷市　坂東市<br>つくばみらい市 |
| 石岡公共職業安定所 | 石岡市東石岡5-7-40 | 0299-26-8141 | 石岡市　小美玉市 |
| 常陸大宮公共職業安定所 | 常陸大宮市野中町3083-1 | 0295-52-3185 | 常陸太田市　常陸大宮市　大子町 |
| 龍ケ崎公共職業安定所 | 龍ケ崎市若柴町1229-1 | 0297-60-2727 | 龍ケ崎市　取手市　牛久市<br>稲敷市 利根町　河内町　美浦村 |
| 高萩公共職業安定所 | 高萩市本町4-8-5 | 0293-22-2549 | 高萩市　北茨城市 |
| 常陸鹿嶋公共職業安定所 | 鹿嶋市宮中1995-1 | 0299-83-2318 | 鹿嶋市　潮来市　神栖市<br>行方市　鉾田市 |

※令和７年度中にハローワーク水戸とハローワーク古河は新庁舎へ移転しました。

# お知らせ 2

『わたし　城（きずき）　南海（みなみ）は
茨城県老健協会のみなさんを
応援しています！』

～プロフィール～　アルバム　/　ツアー情報
平成元年 鹿児島県奄美大島生まれ。
奄美民謡「シマ唄」をルーツに持つシンガー
2009年1月「アイツムギ」でデビュー

- 【アルバム】城　南海　ニューアルバム『ウタアシビ』発売中

- 【ツアー情報】

**城　南海ウタアシビ　2026「秋」**

| | | |
|---|---|---|
| 9/21(月･祝) | 東京 | duo MUSIC EXCHANGE<br>渋谷区道玄坂2−14−8　O−EAST |
| 9/23(水･祝) | 愛知 | ボトムライン<br>名古屋市千種区今池4−7−11 |
| 9/27(日) | 大阪 | 心斎橋Music Club JANUS<br>大阪市中央区東心斎橋2−4−30−5F |
| 10/4(日) | 宮城 | retro Back PAGE<br>仙台市青葉区国分町3−3−1定禅寺ヒルズ8F |
| 10/10(土) | 福岡 | border live music&drinks<br>福岡市中央区警固1−15−38カイタック スクエアガーデン ウエストサイド3F |
| 10/12(月･祝) | 岡山 | 城下公会堂in KOTYAE<br>岡山市北区表町3−5−19 |

チケット　イープラス　https://eplus.jp/kizukiminami/
チケットぴあ　https://w.pia.jp/t/kizukiminami/

介護老人保健施設 あたごナーシングビラ
理学療法士　大越　涼一

介護老人保健施設あたごナーシングビラは、平成９年の開設以来、地域に根ざした介護･看護･リハビリテーションサービスを提供してまいりました。おかげさまで来年には開設 30 年目という節目を迎えます。これまで多くのご利用者様やご家族様、地域の皆様に支えられながら歩んでこられたことに感謝し、これからも安心して利用していただける施設づくりに努めてまいります。

当施設では、ご利用者様一人ひとりの思いや生活背景を大切にし、在宅復帰や在宅生活の継続を目標に、多職種（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員、リハビリ職員、管理栄養士、支援相談員等）がそれぞれの専門性を活かしながら連携し、ご利用者様とご家族様に寄り添ったサービスの提供を心掛けています。

リハビリテーション部門では、理学療法士３名、作業療法士１名、非常勤の言語聴覚士による体制で、ご利用者様の身体機能や日常生活動作の維持・向上に取り組んでいます。歩行や移動能力の改善だけでなく、食事、更衣、排泄など生活に直結した動作訓練を実施し、その方らしい生活を続けられるよう支援しています。また、必要に応じて嚥下機能やコミュニケーション能力への支援も行い、安全で快適な生活につなげています。

私たちは、ご利用者様の「できること」を大切にし、小さな成功体験を積み重ねながら意欲の向上につながる支援を心掛けています。これからも地域に信頼される施設として、職員一同、より良いサービスの提供に努めてまいります。

介護老人保健施設 アイケア
通所リハビリテーション　アイケア
介護福祉士　東條信子

皆さん、こんにちは。通所リハビリテーションを担当しております東條と申します。当施設は茨城県の南に位置する介護老人保健施設です。今回は通所リハビリテーションを紹介致します。

通所リハビリテーションでは、利用者様の人生完成期に『笑顔と輝き』をお届けしたいと日々励んでおります。

毎朝、送迎車が到着する度、「おはよう一」「また来たよ」「ここでなきゃおっきな声出せないもんな」とご挨拶。大声を出すことは大切なことです。そして職員の決め事として、必ず利用者様の名前を１回以上声に出すことにしています。自宅では名前を呼ばれることの少ない利用者様、「○○さん」と呼ばれることで個の意識を持っていただきたいからです。通所には 10 名の職員がおり、『だいこん座』と言う劇団も担当しております。小道具、大道具、衣装は自前。お決まりの厚化粧もこなれたもの。長いセリフやコントにコミカルなダンスと、準備も大変ですが、ただただ利用者様の笑顔をご褒美に演じております。夏祭りや敬老会の定期公演、急に思い立ってのゲリラ公演もあります。職員が定着しているおかげで平均年齢が着実に上がりシップ貼り貼り演じています。一番の若手がもう 40 代…娘役に無理が出てきました（笑）。とにかく利用者様の笑顔が一番！「皆さんあつまれ～。楽しいことしましょう。体の全部動かしてみましょう」これが私共のモットーです。

企画2

# 第33回研究発表会　開催レポート　R8.2.12（木）開催

〇第33回研究発表会も多くの関係者のご支援によりまして、盛大に開催することができましたこと、改めて感謝を申し上げます。

本大会のプログラムでは、特別講演講師に樫村正美先生（常磐大学 人間科学部心理学科 准教授）お迎えし、認知症への新しい視点を用いた介護アプローチを学ぶことができました。

先生の認知症の方と介護者のケアの見識は、将来の施設運営や職員の方の仕事への向き合い方に大変有意義な時間をいただきました。

昼の部、ランチョンセミナーは、3企業様（モルテン様、ユニ・チャーム エンリッケ様、ZENKEN様の提供により、業務に取り入れられる内容のセミナーを提供していただきました。続いての現地セミナーでは、伊藤浩一先生にテクノロジーの再活用による生産性向上、働きやすい環境づくりは組織変革からをテーマに講演をいただきました。

研究発表では、全47演題がエントリーされました。皆さまの日頃からの仕事に対する真摯な取り組みが研究発表という形で届けていただけました。

プログラムのおわりは例年通り、福祉イベントで、歌手 藤田恵美さん、木山裕策さんによるアコースティックコンサートが実現いたしました。お二人の心のこもった歌声で元気をいただきました。

次回の第34回（R9年2月18日開催）でも引き続きのご支援ご協力を賜り、関係する全ての方々にとりまして大切な1日となりますよう運営をしていく所存です。何卒よろしく願い申し上げます。

＊参加した方からのアンケートをいただいておりますので一部をご紹介させていただきます。

## 当日プログラム

**午前の部**

**あいさつ**　会長／森田　隆　学術委員長／池田　八郎　茨城県長寿福祉課課長／大嶋　弘章

**職員表彰式**　茨城県介護老人保健施設事業功労賞表彰　功労者表彰　永年勤続者表彰

**特別講演**　講師　樫村正美氏　テーマ「認知症の方と介護者のケア」
～家族支援プログラムSTARTを施設内で活かす～

**昼の部**

※提供企業様の展示ブースは2階ロビーにて設営

**ランチョンセミナー（3会場）**

・**モルテン**　「床ずれの基礎知識と対策～マットレスの選定とポジショニングについて～」

・**ユニ・チャーム エンリッケ**　「今日からのケアを変えるスウェーデンのケアエッセンス」
～尊厳を守るおむつ処方制度～

・**ZENKEN**　「外国人×音楽レク×DX」の最新手法
～利用者満足度を劇的に向上させるレクを実演で体感～

**午後の部**

**研究発表会**　全47演題【第1～第4会場】

**現地セミナー**　講師　伊藤浩一氏
「テクノロジーの再活用による生産性向上、働きやすい環境づくりは組織変革から」

**福祉イベント**　歌手 藤田恵美さん歌手 木山雄策さんによるアコースティックコンサート

### ①特別講演「樫村正美先生～認知症の方と介護者のケア～」はいかがでしたか？

■家族のフォローという視点が新鮮で興味深かった。

■特別講演ではご家族によりそう姿勢や傾聴、共感の大切さを改めて感じた。「引き金→行動→結果」の視点が1番印象に残った。色々考え方で悩んでいたこともあり、それをふまえつつ聴いていた。今後の支援に活かしたい。

■これまでは福祉・介護・医療面などから認知症を学ぶことが多かったが、心理学という新しい視点から話を聞くことができた。認知症についての知識の幅が広がった。

■普段認知症の方と接している職員やご本人へのケアや対応でなく、ご家族様へのアプローチということがとても新鮮だった。今回リラクゼーション方法などもご指導いただいたので、自分自身だけでなくご家族様にもアドバイスを行えたらなと思う。

■こんな視点で高齢者やその家族を検証している方もいるのかと勉強になった。後半時間が不足気味になって、駆け足で話されていた内容があった。当日のスケジュールもあったと思うが、100分という時間では不足していたように思う。

■認知症の症状を単なる問題行動として捉えるのではなく、その背景にある不安や混乱、喪失感といった心理を理解する視点の重要性を強く再確認できた。講演の進行もテンポが良く、楽しく学ぶことができた。

■心理学の観点から、介護者側のアプローチを知ることができた。時間がなく割愛されてしまったが、リラックスの方法など知りたかった。

■とても深く、分かりやすかった。

■認知症の症状や介護者のケア方法等の理解がより深まった。学んだことを日々の診療や業務に活かせるようにしていければと思う。また、心理教育プログラム「START」をより知りたいと思った。

**②現地セミナー「伊藤浩一先生～テクノロジーの再活用による生産性向上」はいかがでしたか？**

■今回のセミナーに参加させていただいて、結果がでるまでに紆余曲折あり何度もトライ＆エラーを繰り返して行うことの大切さを感じた。

基幹となる「目指す姿を定める」このことに対していつも、なんとなく、になっている感じがした。職員間での理解も時間をかけて行うことが大切と思った。

■施設として目標を明確にすることで、どのような対応をしていくのか？ぶれないこと！が一番と思った。新しいシステムの導入なども参考になった。

■生産性向上に対しての取り組みと実際の失敗を交えての説明。どういうことを共有して職員同士が取り組まなければいけないのか、事前準備はどうやっていったのか具体的な説明が聞けて参考になった。

■伊藤先生の講演内容はとても素晴らしく、又、伊藤先生の熱量が伝わってきて、先生の施設を拝見したいと思った。

■素晴らしい内容であり、非常に聞きやすく、資料も見やすかった。施設の見学をしたいと考えるほど、惹かれる内容だった。

**③研究発表はいかがでしたか？**

■各施設の取り組みを通して色々と学んだ。自施設へも取り入れられないかと思いながら拝見した。

■栄養士やリハビリなど、自分と異なる職種の話を聞くことができ、勉強になった。

■外出やレクリエーション関係を中心に聞かせていただいたが、利用者様にとって良い反応がでている発表が多く、自事業所でも積極的に取り組んでいきたいと思った。

■興味のある発表も多く、充実した時間が得られた。発表者として、多くの方に話を聞いていただける機会が得られ、良い経験が得られた。

■皆様、各施設で利用者様の為にと、様々な活動をされており、今後の学びとさせていただいた。

■自身の実践を振り返る貴重な経験になった。また、他施設の取り組みを聞くことで、多様な視点や工夫を学ぶことができた。今後も根拠に基づいたケアを実践し、学び続けていきたいと思った。

■どの発表も興味深いものだったが、可能であれば発表→質疑応答の順で進行していただくと、より理解が深まりやすく質問しやすいと感じた。

■第１会場に出席（第１部、第２部）看護の方ではそれぞれの研究を長期間まとめていて、まず、ACPについて、初めて知ることができた。次にコロナ感染クラスター時の対応について他施設でも取り組みを知ることができた。誤嚥性肺炎を予防するための取り組みは各職種の方々と協力し、誤嚥を防ぐことができたこと、私達も学びたいと思った。施設内感染予防の手指消毒使用量を目標量推奨されていたことに気付き、過去の使用量が少なかったことを知った。

**④福祉イベント「藤田恵美さん、木山雄策さんアコースティックコンサート」はいかがでしたか？**

■とても良かった。帰りの電車の関係で中座する予定だったがひきこまれて、アンコールまで聴かせていただいた。選曲もなじみのある温かいものが多く、楽しめた。ファンになった。もちろんお二人の。

■感動で涙腺ウルウルだった。ありがとうございました。

■こういった場でコンサートを聴けるとは思っていなかったので良かった。

■二人共知っている歌手であり聴いていて癒された。又、トークも楽しかった。１日の疲れがなくなった。またお願いしたい。

■素晴らしい、歌声に聞きほれてしまうほどの癒しの時間だった。もう一度お二人のコンサートに行きたい。感動した。

■アコースティックコンサートは中々自分では聴く機会がないため、とても感動し楽しい時間だった。その後からHOME聴いてます。

■最後にお二人の歌を聴くことができてとても癒された。水戸のお土産五家宝には笑ってしまった。とても良かった。

■木山裕策さんの癌との闘病の話では「歌いたい、病気で歌えなくなってしまうなら恥ずかしいなんてない」とリアルな体験談に、自身の未知の可能性を感じた。とても有意義なイベントをありがとうございました。

## コミュニティケアセンター縦山

ホームページ URL
https://www.momiyama-kai.org/

**～その人らしいケアを大切に。共感し合い、
かけがえのない日々を過ごせるように。～**

コミュニティケアセンター縦山は、社会福祉法人縦山会が茨城県鉾田市で運営する介護老人保健施設です。平成 10 年 7 月の開設以来、「共生」「共感」「共創」を基本理念に掲げ、ご利用者様お一人おひとりを尊重した支援と、地域福祉の課題解決に積極的に取り組んでまいりました。創設以来大切にしている地域への貢献、安心できる医療の提供、そして地域福祉のさらなる充実を基本方針としています。

当施設では、入所定員 75 床に加え、短期入所療養介護（ショートステイ）、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションなど、幅広いサービスを展開しています。医師・看護師による医療との連携が充実していることが縦山会ならではの強みであり、看護・介護サービスを中心に、日常生活支援･健康管理･リハビリテーションをご要望に沿って提供しています。また、地域の関係機関と綿密に連携を図り、住み慣れた地域・ご家庭で生活が継続できるよう支援いたします。

立地は関東平野の東端、北に涸沼、南に北浦、東に太平洋を望む自然豊かな環境にあります。敷地内には陽の光が差し込む中庭があり、ご利用者様と一緒に季節の植物や野菜の栽培を行うなど、四季の移ろいを共に感じていただける環境が整っています。月ごとの季節行事、音楽療法、納涼祭や文化祭などを開催し、その様子は Instagram や Facebook でもご家族様にお届けしています。

さらに、自立訓練と就労継続支援 B 型を兼ね合わせた多機能型事業所「もみやまリハビリテーションセンター」、口腔機能と生活の質の向上を目的とした訪問歯科、オンラインを活用した施設内勉強会など、独自の取り組みにも力を入れています。個々の心身の状態に応じたきめ細やかな日常生活プログラムを通じて、ご利用者様お一人おひとりの「その人らしい暮らし」を、これからも地域とともに支えてまいります。

## 施設紹介

## ライブリーライフ「那珂」

これまで病院併設型で 30 年間運営してまいりましたが、新病院の移転に伴い、令和 8 年 3 月から単独老健となりました。

敷地内には、同医療法人の訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターがあります。また、社会福祉法人の特別養護老人ホーム及び小規模多機能施設・グループホームが隣接しております。

2011 年の東日本大震災では、天井が複数箇所で崩壊するなど一時は施設の存続すら危ぶられましたが、大規模な改修工事で半年後には無事再開することができました。これも同法人・同グループ施設の協力なしには叶わなかったと実感しております。

ホームページ URL
https://seito-livelylife.com/

【当法人の基本理念】
・親切と奉仕
・調和と進歩、生涯学習
・健全経営

【当法人の基本方針】
・私たちは、利用者の立場になって、その人らしく暮らしていくための支援を行います。

私たちは、利用者が地域とのつながりを持てるとともに、地域に信頼される施設となるよう努めます。

・私たちは、サービスの質の確保と向上のために、自己研鑽に努めます。
・私たちは、介護保険法・省令及び関係法令を遵守し、役割職務を遂行します。

当施設として特別な取り組みはございませんが、協力病院を中心とした関連施設合同の感染症対策委員会があります。新型コロナウイルス感染症の流行時には、委員会が主体となって、各施設等で発生したクラスターに対応してまいりました。こうした協力体制の中でも組織の一施設として、老健が担う役割を明確にすることを第一に、超高齢化社会を支えられる施設を目指してまいります。

## ひだまり倶楽部

ひだまり倶楽部は、茨城県最北端に位置する、海・山・文化が織りなす感動のまち北茨城市に、介護保険制度施行年の2000年に開設いたしました。陽光にきらめく紺碧の太平洋と、常陸と福島浜通りをつなぐ阿武隈の里山に抱かれた緑豊かな環境で、利用者様一人ひとりの「その人らしい暮らし」を大切に、安心と温もりのある介護サービスを理念に掲げて参りました。当施設は長年にわたり地域医療に携わってきた瀧病院が設立した施設になります。医療機関の併設を強みに、医療と介護の緊密な連携により、健康と生活を総合的に支え、確かな安心を皆様に提供することを実践しております。同敷地には、介護保険事業として、居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問リハビリテーション、介護医療院も展開し、相談から支援まで対応するシームレスな医療介護連携により、地域包括ケア体制の担い手として地域づくりに貢献する、北茨城市の医療介護の中核として牽引できる法人づくりを目指しております。また、老健の役割である在宅療養支援機能を、各機関と繋ぐ連携のための活動のひとつひとつを丁寧に、常に真摯であることを心がけ、人と人との繋がりを何よりも大切に、思いやりにあるふれる介護施設として、地域の皆様とともに歩んでいきたいと思っております。北茨城市は、県内市町村との比較においても、人口減少率が高い水準にあり、人口流出への対応が大きな課題となっています。だからこそ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援体制が求められていることを使命として捉え、東日本大震災、新型コロナ感染症、線状降水帯と、それまでの生活では想像もできないような災いが起こる現代で、介護施設としての真価が問われているとも思っております。これからも、職員それぞれの力を結集し、職種の枠を超えた対話と協働を通じて、利用者様にとって最善のケアを追求し、寄り添うケアを一貫して実践していきたいと思います。

ホームページURL
http://www.hidamari-club.jp/

## 施設紹介

## かすみがうら

当法人の前理事長　大場正二先生のご先祖の居住地である、行方市（旧玉造町）に、前理事長の願いでもあります、「地域に貢献できる施設」として、平成17年3月に開設いたしました。

自然に恵まれ、施設周囲には、春は満開の桜、夏は緑一色に、秋は紅葉と木々に囲まれ静かな環境の中で日常生活をより豊かなものにするために、スタッフ一同連携したサービスを提供させていただいております。

老健の役割として、在宅復帰の支援、機能の回復、施設で可能な医療ケアの提供、そして看取りケアまで、ご利用していただける皆様一人一人に寄り添い、満足していただけるよう支援しております。また、老健かすみがうらの特徴として、'透析の必要な方のご利用 'が可能です。当法人は透析治療を中心に提供している医療施設（水戸：2、玉造：1）と連携し、入所の困難な透析患者様の受け入れもさせていただいており、現状、入所定員81名のうち、15名程度はご利用いただいております。

また、地域とも深いつながりを持ち、行政と連携、介護予防事業へも参画し、リハビリ職員の派遣や基準緩和型デイサービスの開催、リハビリ相談事業も展開したり、今年度は第1回市民講座の開催や演劇「劇団いばらき」への招待など地域の皆様方へも参加の促しをさせていただいております。

地域の皆様、ご利用様、そして職員、かすみがうらに関わるすべての皆様と共にこれからも進化、成長そして、老健かすみがうらの理念「ともに育む施設であり続けます」を念頭に励んでまいります。

ホームページURL
http://www.s-kasumigaura.com

# 茨城県介護老人保健施設協会会員一覧

| | 番号 | 施設名 | 所在地 | 電話番号 |
|---|---|---|---|---|
| 県北地区 | 1 | おはよう館 | 北茨城市磯原町磯原字前大沢1919-4 | 0293-44-0088 |
| | 2 | ひだまり倶楽部 | 北茨城市磯原町磯原2-305 | 0293-30-1710 |
| | 3 | 博　純　苑 | 高萩市大字秋山625 | 0293-23-2900 |
| | 4 | ノ　ア | 高萩市高浜町3丁目154-1 | 0293-24-2100 |
| | 5 | さくら日立 | 日立市城南町1-1-11 | 0294-22-8811 |
| | 6 | 日立南ヘルシーセンター | 日立市大みか町6-17-1 | 0294-52-6825 |
| | 7 | シニア健康センターしおさい | 日立市国分町3-6-1 | 0294-34-6611 |
| | 8 | くじらケ丘 | 常陸太田市田渡町855-1 | 0294-70-2611 |
| | 9 | 大宮フロイデハイム | 常陸大宮市上町318-1 | 0295-53-1000 |
| | 10 | 温泉リハビリセンター虹の丘 | 久慈郡大子町大字矢田93-1 | 0295-72-6331 |
| | 11 | ひたちの森ハピネス | 日立市十王町伊師725-1 | 0294-20-6699 |
| | 12 | やすらぎ | 久慈郡大子町大子888 | 0295-72-6622 |
| | 13 | プラタナスの丘 | 常陸大宮市宇留野3109 | 0295-54-1150 |
| | 14 | 田尻ヶ丘ヘルシーケア | 日立市田尻町2-8-11 | 0294-43-6343 |
| 県央地区 | 1 | サンライズ湊 | ひたちなか市阿字ヶ浦町字原1406-1 | 029-265-8711 |
| | 2 | 勝　田 | ひたちなか市中根5125-2 | 029-276-3111 |
| | 3 | みなと苑 | ひたちなか市幸町16-1 | 029-263-0655 |
| | 4 | いちご苑 | ひたちなか市笹野町1-3-20 | 029-271-1750 |
| | 5 | フェニックス那珂 | 那珂市飯田1733-1 | 029-298-8787 |
| | 6 | ライブリーライフ「那珂」 | 那珂市菅谷605-2 | 029-295-6835 |
| | 7 | きんもくせい | 東茨城郡城里町石塚1223-1 | 029-288-7221 |
| | 8 | はぁもにか | 水戸市石川4丁目4039-26 | 029-254-5777 |
| | 9 | こすもぴあ | 水戸市石川4-4027 | 029-252-4777 |
| | 10 | くるみ館 | 水戸市河和田町3335-1 | 029-255-4774 |
| | 11 | ナーシングホームかたくり | 水戸市河和田町4516-1 | 029-255-5222 |
| | 12 | みがわ | 水戸市見川町2131-105 | 029-305-6868 |
| | 13 | つねずみ | 水戸市大場町字小山2-14 | 029-247-6250 |
| | 14 | つまさと | 水戸市有賀町2228 | 029-259-7677 |
| | 15 | エバーグリーン | 東茨城郡茨城町若宮字向ヒ393-1 | 029-293-9460 |
| | 16 | レイクヒルひぬま | 東茨城郡茨城町下石崎2324 | 029-240-8120 |
| | 17 | おおあらい | 東茨城郡大洗町大貫町1212-11 | 029-267-1331 |
| | 18 | カーサ・ビアンしろさと | 東茨城郡城里町阿波山原602 | 029-240-9595 |
| | 19 | ラプラス津田 | ひたちなか市津田3728 | 029-222-4186 |
| | 20 | プロスペクトガーデンひたちなか | ひたちなか市高野字柏野2455-1 | 029-354-3210 |
| | 21 | シルバービィレッジ | 笠間市南小泉977-1 | 0296-78-2211 |
| | 22 | 笠間シルバーケアセンター・パル | 笠間市来栖255-1 | 0296-70-1185 |
| | 23 | あたごナーシングビラ | 笠間市土師1080-1 | 0299-37-6511 |
| | 24 | すみれ | 笠間市石井2045 | 0296-70-0035 |
| | 25 | はなみずき | 水戸市東原3丁目2-8 | 029-303-3501 |
| | 26 | 桜の郷敬愛の杜 | 東茨城郡茨城町桜の郷1000-2 | 029-353-6581 |
| 東部地区 | 1 | 鹿　野　苑 | 鹿嶋市宮津台188-17 | 0299-83-7311 |
| | 2 | ばんなん白光園 | 神栖市賀2148 | 0299-93-1162 |
| | 3 | シオン | 神栖市土合本町2-9809-126 | 0479-48-1888 |
| | 4 | フロンティア鉾田春の場所 | 鉾田市柏熊985-1 | 0291-32-5408 |
| | 5 | リヒトハウス北浦 | 行方市繁昌1712-1 | 0291-35-0471 |
| | 6 | みのり苑 | 小美玉市橋場美21 | 0299-48-3556 |
| | 7 | 八郷プロバンス | 石岡市瓦谷766-28 | 0299-44-3213 |
| | 8 | サングリーンやさと | 石岡市小倉443-1 | 0299-43-3120 |
| | 9 | コミュニティケアセンター樅山 | 鉾田市樅山497 | 0291-37-3850 |
| | 10 | あいあい | 石岡市東石岡4丁目1-38 | 0299-28-3838 |
| | 11 | サン・テレーズ | 小美玉市栗又四ケ1752-1 | 0299-37-1115 |
| | 12 | かすみがうら | 行方市若海793-5 | 0299-55-0122 |
| | 13 | ウイケア | 石岡市行里川12951-1 | 0299-56-2533 |
| | 14 | 小美玉敬愛の杜 | 小美玉市中台148 | 0299-56-5181 |

| | 番号 | 施設名 | 所在地 | 電話番号 |
|---|---|---|---|---|
| 県西地区 | 1 | さざんか荘 | 桜川市亀岡992 | 0296-76-2021 |
| | 2 | 協和ヘルシーセンター | 筑西市門井1669-2 | 0296-57-6030 |
| | 3 | ごぎょうの里 | 筑西市小林467-1 | 0296-25-5710 |
| | 4 | 梨　花　苑 | 筑西市木戸348 | 0296-37-4810 |
| | 5 | ルーエしもつま | 下妻市江1832 | 0296-44-8000 |
| | 6 | 寿　桂　苑 | 坂東市沓掛4527-1 | 0297-44-2345 |
| | 7 | 青嵐荘ケア・アシスタンス | 古河市上大野703-1 | 0280-98-2711 |
| | 8 | 平　成　園 | 古河市旭町1-17-39 | 0280-31-5998 |
| | 9 | あんしん | 結城市大字結城字健田12744 | 0296-33-0880 |
| | 10 | 生きいき倶楽部 | 結城市大字結城9143-1 | 0296-20-8666 |
| | 11 | マカベシルバートピア | 桜川市真壁町東山田1945 | 0296-54-2800 |
| | 12 | 境町メディカルピクニック | 猿島郡境町塚崎2555-1 | 0280-81-1055 |
| | 13 | さくらがわ | 桜川市東飯田659 | 0296-20-6071 |
| | 14 | まくらがの郷 | 古河市東本町4-2-2 | 0280-33-1234 |
| | 15 | きねぶち | 坂東市長谷989-5 | 0297-47-3333 |
| | 16 | けやきの舎 | 古河市仁連601 | 0280-77-3333 |
| | 17 | すばる | 結城市大字結城10780 | 0296-21-2088 |
| | 18 | 夢彩の舎 | 猿島郡境町大字若林2269-1 | 0280-33-7300 |
| | 19 | プレミエール元気館筑西 | 筑西市古郡554-3 | 0296-57-7000 |
| 県南地区 | 1 | シルバーケア土浦 | 土浦市木田余4606 | 029-826-7021 |
| | 2 | ひかり | 土浦市右籾1113-1 | 029-843-3321 |
| | 3 | アリエッタ | つくば市北条1174 | 029-867-1182 |
| | 4 | つくばリハビリテーションセンター | つくば市大曽根3681 | 029-864-8300 |
| | 5 | そよかぜ | つくば市上横場2573-1 | 029-836-0517 |
| | 6 | 「墨　浦」 | つくば市大字神郡2013-1 | 029-850-7111 |
| | 7 | つくばケアセンター | つくば市要76 | 029-877-1313 |
| | 8 | なでしこ | つくば市水守2228-2 | 029-864-6565 |
| | 9 | ゴーエン美浦 | 稲敷郡美浦村宮地678 | 029-885-5522 |
| | 10 | ケアセンター阿見 | 稲敷郡阿見町若栗2957-4 | 029-889-1180 |
| | 11 | スーペリア360 | 稲敷郡阿見町荒川本郷2033-508 | 029-830-5300 |
| | 12 | セントラルゆうあい | 牛久市柏田町1590-3 | 029-872-8833 |
| | 13 | 涼　風　苑 | 龍ケ崎市貝原塚町3689 | 0297-63-0008 |
| | 14 | サンライフ宗仁会 | 取手市岡1471 | 0297-85-8743 |
| | 15 | 取手市介護老人保健施設緑寿荘 | 取手市野々井1926-8 | 0297-78-9100 |
| | 16 | はあとぴあ | 取手市井野253 | 0297-74-3335 |
| | 17 | けんちの苑水海道 | 常総市豊岡町丙3264 | 0297-24-5511 |
| | 18 | 春　秋　園 | 牛久市猪子町891-2 | 029-870-3100 |
| | 19 | けやきの郷 | 龍ケ崎市若柴町字沖餅1741-1 | 0297-61-5133 |
| | 20 | プレミエール元気館 | つくば市谷田部6107-1 | 029-838-1919 |
| | 21 | ホワイトハウス千代田 | かすみがうら市東野寺495-2 | 0299-23-1133 |
| | 22 | いなしきの郷 | 稲敷市佐原組新田1378-1 | 0299-79-3811 |
| | 23 | プエブロ稲敷 | 稲敷市浮穴11 | 0297-87-7511 |
| | 24 | もえぎ野 | 北相馬郡利根町もえぎ野台1丁目1-8 | 0297-84-6081 |
| | 25 | ネオテラス宗仁会 | 取手市岡1493 | 0297-85-8341 |
| | 26 | ひまわり | つくば市高崎1008 | 029-871-5749 |
| | 27 | アイケア | 守谷市小山318-5 | 0297-38-6767 |
| | 28 | セントラル土浦 | 土浦市真鍋新町12-10 | 029-893-6100 |
| | 29 | ビオラセア | 龍ケ崎市字野原1360-1 | 0297-85-5111 |
| | 30 | セントラルわかたけ阿見 | 稲敷郡阿見町阿見5050-12 | 029-875-3340 |

## ― 編集後記 ―

○今回の表紙を飾るのは、関東三大祭りの一つと呼ばれる毎年９月に開催される石岡のおまつり（常陸國總社宮例大祭）の幌獅子です。お祭りでは神輿や山車、幌獅子の巡行、ささらと呼ばれる三頭の獅子舞や石岡囃子など昔から継承されてきた様々な行事が催され、たくさんの人で賑わいます。ひとりひとりの楽しい思いが広がり、同じ時間を共有することで一体感が生まれることはお祭りの醍醐味とも言えます。そんな瞬間を大切に味わいたいものです。

発行所／一般社団法人　茨城県介護老人保健施設協会
発行人／プロスペクトガーデンひたちなか　森田　隆

一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会
ホームページ

編集人／つくばリハビリテーションセンター　市原　健一
編　集／鹿野苑　橋本　有
ひだまり倶楽部　瀧　慶治
ウイケア　岩瀬　剛
事務局／老健かすみがうら
印　刷／（株）横山印刷